



平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会社名 東京都競馬株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 一 久
(コード番号 9672 東証第 1 部)
問合せ先 取締役企画部長 加藤 英 夫
(TEL 03 - 5767 - 9721)

第 2 次中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2017 年度(2017 年 12 月期)から 2021 年度(2021 年 12 月期)までの 5 年間の計画期間とする第 2 次中期経営計画「Road to 『NEXT STAGE』」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 第 2 次中期経営計画の策定にあたって

当社は 2013 年 2 月、第 1 次中期経営計画「事業基盤強化への新たな挑戦」(以下、第 1 次中計)を発表し、計画に掲げた基本方針や戦略に基づく取り組みを着実に実行してきた結果、業績目標を 2 年前倒しで達成するなど、ここまで順調に推移してまいりました。

今後は企業としての更なる成長は勿論、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催をはじめとする環境変化への的確な対応、第 1 次中計で 10 年後に向けた基本戦略としている地域社会や地球環境への貢献など、より一層の着実な取り組みが求められます。

このような状況を踏まえ、当社はグループ全体の更なる企業価値向上に向けた、2017 年度からの 5 年間で取り組むべき施策を明確にするために、第 2 次中期経営計画「Road to 『NEXT STAGE』」(以下、第 2 次中計)を策定いたしました。

2. 企業理念

第 2 次中計の策定にあたり、会社設立当時の趣旨、現在までの事業の変遷を踏まえ、今後 5 年間はもとより、その先々の企業活動における使命・目標を明確にするために、企業理念を改めて明文化いたしました。

企業理念 「空間に思いを馳せ、人々の笑顔を創造する。」

3. 第1次中計の総括

第1次中計において、2017年度(2017年12月期)の業績目標を「売上高170億円、営業利益32億円、当期純利益20億円」としておりましたが、2015年度(2015年12月期)において「売上高184億円、営業利益47億円、当期純利益25億円」となり、すべての目標値を2年前倒しで達成することができました。

注)「当期純利益」については、2016年度(2016年12月期)より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示変更しております。

4. 当社グループを取り巻く環境

今後、周辺環境が様々変化していくことが予測される中で、当社グループとしては、特に「余暇(レジャー)市場の推移」「大井・勝島地区周辺のインフラ整備」「地方競馬全体の売上増加」「所有施設の老朽化」といった要因に着目し、人(ユーザー)や街(地域)に寄り添う事業をより一層推進していく必要があると認識しております。

5. 本計画の基本方針・キーワード

第2次中計の実施にあたり、取り組む施策に関する基本的な考え方・目的および方向性を明確にするために、以下の基本方針ならびにキーワードを定めております。

基本方針

- ・既存の枠組みを超えた「新たな取り組み」への着手
- ・これまでより一歩進んだ「新たな空間」「新たなサービス」の提供

キーワード

「感動」	<ul style="list-style-type: none">・良質なエンターテインメントの提供・自然環境が織りなす「癒し」の提供・体験・学び・冒険の提供・顧客満足度の向上
「安心・安全」	<ul style="list-style-type: none">・顧客の安全性・快適性を追求したハード・ソフトの改善
「貢献」	<ul style="list-style-type: none">・環境・地域・社会への貢献・地域資源の活用・近隣の行政や各団体との連携
「経営基盤」	<ul style="list-style-type: none">・安定的収益基盤の強化・通年での収益確保を目指した事業展開

6. 『NEXT STAGE』

各事業セグメントおよび全社的取り組みにおける将来のビジョンを『NEXT STAGE』としたうえで、『NEXT STAGE』の実現に向けて、アクションプランに基づいた施策を行ってまいります。

(1) 公営競技事業

公営競技事業においては、大井競馬場の『NEXT STAGE』を「365日笑顔の集まるアミューズメントパーク」「新たなコミュニティが生まれる広場」として、イルミネーションのバリエーションアップ、アミューズメントパーク大井(TCK)の実現、各種イベントの企画・展開、施設の再整備を行い、併せて在宅投票システム(SPAT 4)および SPAT 4 プレミアムポイントシステムの成長促進に向けた取り組みを行ってまいります。

また、伊勢崎オートレース場の『NEXT STAGE』を「地域市民の憩いの場」として、スタンドの耐震改修をはじめとした施設の再整備や、地域・行政と連携した施設活用に取り組んでまいります。

(2) 倉庫賃貸事業

倉庫賃貸事業においては、物流倉庫施設の『NEXT STAGE』を「広く首都圏湾岸部へも新規展開」「街づくりの一端を担う施設」として、新規事業物件の取得、勝島倉庫地区グランドデザインの構築、既存倉庫の建替えを進めてまいります。

(3) サービス事業

サービス事業においては、『NEXT STAGE』で掲げた「地域に資する施設の提供」および「利用者(取引先)に満足をお届けるサービスの提供」を目指して、グループ会社の活動を通じた競馬場サービスの強化、新たな用地活用およびサービス提供の検討、グループ施設の更なる充実および新たな営業展開を図ってまいります。

(4) 遊園地事業

遊園地事業においては、東京サマーランドの『NEXT STAGE』を「1年中楽しめる『心ときめく水の王国』」「秋川流域の自然、文化、企業(行政)との共生」として、株式会社東京サマーランドの企業使命である「感動と心地よい時間の創造」を軸に、コト消費への展開やお客様目線の事業展開、自然・動物の保護、秋川流域の資源活用、さらには、施設の安全対策強化・快適性向上、魅力ある施設づくりを進めてまいります。

(5) CSR 活動の強化

CSR 活動においては、「グループ全体での統一的・体系的な取り組み」を『NEXT STAGE』として、CSR 活動の実施に加えて、CSR 行動基準の整備や活動に関する積極的な情報発信を行うことで、CSR 活動において一層の充実を図ってまいります。

(6) 人材・組織の育成

人材・組織の育成においては、「常に目的意識を持って取り組む社員」「戦略的かつ魅力的な組織」を『NEXT STAGE』として、「輝く社員」のための人材育成プログラムの整備や事業と連動し、能力を発揮できる環境づくりに取り組んでまいります。「採用」「育成」「組織」の3つの観点から人材および組織の活性化を図ることで、将来の経営基盤を支える人材および組織を構築してまいります。

(7) インバウンド・オリンピック対応

2020年の東京オリンピック・パラリンピックや近年増加するインバウンドへの対応をビジネスチャンスと捉え、イベント活動の周知やオリンピック・パラリンピック時の交通利便性向上に向けた協力活動を通じて、アミューズメントパークとしての大井競馬場に関する外国人観光客への認知度向上を図ることで、多様化する国内外の観光客のニーズに対応する魅力ある競馬場を目指してまいります。

7. 計数計画

(1) 業績に関する目標

2021年度(2021年12月期)の目標を、売上高230億円、営業利益60億円、親会社株主に帰属する当期純利益40億円といたします。また、これらの目標を達成した場合の自己資本利益率(ROE)については6%を見込んでおります。

(2) 設備投資および財務に関する計画

既存施設の更新・安全対策および新規事業・既存事業拡張のため、5年間で総額300億円の投資を行います。なお、投資の実施にあたっては、市場状況等を勘案した適切な調達方法を選定したうえで、5年間で総額200億円の資金調達を行います。

8. 『NEXT STAGE』実現の先に

『NEXT STAGE』の実現を通じて、企業の成長、ステークホルダーへの還元、社会貢献、組織力の強化がなされることで、当社グループ全体における企業価値の向上を図ってまいります。

9. 結びに

本計画の策定にあたり、当社は企業としての根本的な考え方である企業理念を改めて明文化することで、今後の企業活動における使命・目標を明確にいたしました。

本計画の実行は、この新たな企業理念に基づく活動の第一歩であり、タイトルにも掲げた『NEXT STAGE』の実現により、5年後はもとより、その先の将来の事業展開も見据えた新たなステージづくりを行ってまいります。

当社の活動がすべてのステークホルダーに有益で満足なものとなるよう、今後もグループ一丸となって取り組みを進めてまいります。

※本資料は、将来の財政状態および経営成績に関する記述が含まれております。この前提および将来予測に関する記述には、経営環境による一定のリスクと不確実性が含まれていることをご留意ください。

以 上